

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方

鼎地区土地利用計画検討懇談会だより

～ 鼎地区の土地利用計画について検討を始めました。その内容を市民の皆さんへお知らせします～

第2回鼎地区土地利用計画検討懇談会を行いました

日時 平成17年1月26日(水) 19:00～21:00

場所 鼎公民館 4階 大会議室

参加 検討委員27名、飯田市役所職員9名

前回に引き続き、鈴木俊治先生((有)ハーツ環境デザイン代表取締役)をコーディネーターとして、検討委員が4つのグループに分かれワークショップを行いました。

第1回懇談会で示された現状、問題点を整理し、地域の課題等を確認し、「鼎で大切にしたいことを実現するための土地利用イメージマップ」を作成しグループごとに議論し、発表しました(主な意見は裏面のとおり)。



4つのグループに分かれてワークショップを開始しました。



意見を出し合い、アイコン<土地利用別のラベル>を配置しています。良いところ、問題に思うところ等を書き出しました。



グループごとに検討委員が検討結果の図面を発表しました。



4グループの作成した地図を並べて、共通項目や課題について確認しました。

第2回 県地区土地利用計画検討懇談会で出た主な意見

土地利用イメージマップを作成して...

現状では、県地区の土地利用について、概ね満足あるいは納得している意見が多く出されました。しかしながら、将来に向けては、問題の発生を予防しその広がりを防ぐために課題をみんなで共有化する必要性も鈴木さん(コーディネーター)から指摘されました。

県地区の資源をこのまま残したい

- 公園等<自然・緑>の整備と活用
- ・矢高公園
- ・妙琴公園
- ・松川河川敷
- ・名古屋神社
- ・斜面略地(農地)の保全
- ・特徴ある街並み・景観の維持
- ・県道青木県線沿いの街並み
- ・茶屋町などの歴史的な街並み
- ・農地<農業>の保持
- ・まとまった農地の保全
- ・兼業農家がこのまま農業を継続できる環境づくり



県地区の地図に土地利用アイコンを貼り地区の特徴や課題を整理しました。

県地区の土地利用における問題・悩み？

- 次のような意見が出されました。
- ・利便性が良すぎて土地利用上の課題が明確にできない。
 - ・農地を維持したいが後継者がいない。
 - ・まとまった緑が少なくなってきた。
 - ・まとまった土地が少なくなってきた。土地を有効に活用するための土地利用の適正化の必要性が高まっている。
 - ・国道153号線沿いの景観の取組みを維持することは大変。アップロード沿いと其側の土地利用について検討する必要がある。
 - ・これからの高齢化社会の到来を考えると地元の商店街は大切にしたい。
 - ・もう開発の余地はないのでは。住宅地として供給はそろそろ限界に思える。
 - ・住宅と農地の混在地における「ほどよい調和」を考える必要がある。共存できることが大切。
 - ・現状で変える事ができない事が多いので、それを活かす方向で検討するべきだ。
 - ・生活道路が狭い。排水路の整備が必要。
 - ・隣接地区との土地利用の整合性をとったり調整する必要がある。

次回、第3回懇談会は
下記のとおり開催します。

日時 平成17年3月6日(日)
9:00~12:30

場所 県公民館

内容 第2回懇談会で出された現状(良いところ、問題点、変えたいところ)をマイクロバスで見回り確認します。その後、問題解決の方法を話し合います。参加希望の方がおりましたら、発行元までご連絡ください。

発行元：飯田市役所

飯田市大久保町 2534 22-4511

E-mail: ikikaku@city.iida.nagano.jp

企画部企画課 担当：三浦 内線 2223
産業経済部農政課 担当：中平 内線 3515
建設部管理計画課 担当：桑田 内線 2743

飯田市役所県支所

飯田市県上山 1890-1 22-7100

今後、懇談会の模様をこのような懇談会だよりとして、皆様にお届けします。ご感想、ご意見等ございましたら、発行元までご連絡ください。